



外出時間の変更とお願い

10月に入ると、気温も下がり過ごしやすくなってきて、イベント・行事が各地で開催されます。また、秋の味覚も豊富になってきます。学校の校庭からも金木犀の香りが漂ってきて気持ちを癒してくれます。さて、「秋の日は釣瓶落とし」という言葉があります。これは、秋に近づいてくると少しずつ日が短くなっていき、早い時間に外が暗くなっていることに気付いて、秋の訪れを感じることを例えた諺です。「釣瓶落とし」の「釣瓶」とは、井戸水を汲むための桶やその周辺の装置のことを指します。井戸水を掬い上げる桶は縄や竿にくくりつけられていて、滑車によって上下する仕組みになっており、手を離すと真っすぐに桶が井戸に落ちていきます。つまり、「秋の日は釣瓶落とし」とは、“釣瓶落としのように秋は日が暮れだすとあつと言う間に暗くなってしまう”といった意味を持っているのです。



そういうことから、学校では外出時間を季節によって変えています。

3月から9月までは、午前10時から午後6時まで（自宅に帰り着くまで）

10月から2月までは、午前10時から午後5時まで としています。

小学生が子どもだけで遊びに行く場合は、あらかじめ各家庭でルールを決めること、またマナーや約束を確認することが大切です。例えば以下のルールは家庭で徹底して欲しいと思います。

子供だけで遊びに行く前には、どこで、誰と遊ぶのか、何時までには帰るのかを明確に伝えることを徹底しましょう。保護者が不在の場合は、メモを残す、電話やライン、メールなどで伝えるなど、細かなルールも決めておきましょう！

他にも次の様な視点も各家庭で話し合っ欲しいと思います。

・知らない場所ではなく、知っている場所で遊ぶこと ・友達と2人以上で遊ぶこと ・行き帰りは交通ルールを守ること ・自転車で行く場合はヘルメットをかぶること（4年生以上） ・人通りの多い道を通ること ・防犯ブザーや見守り携帯などを持っていくこと ・帰宅時間を守ること ・他の人の迷惑になる行為、危険な遊びをしないこと ・持っていったものを忘れてこないこと

また、友達の家遊びに行く場合は、以下の様なマナーや約束も考えられます。

・大人がいない家には上がらない（これは徹底事項） ・インターホンは連打しない ・「お邪魔します」「お邪魔しました」「ありがとうございます」などの挨拶をすること ・靴を揃える 言 ・お菓子やジュースを要求しないこと ・冷蔵庫を勝手に開けないこと ・家の中を探検しないこと ・出かける前にきれいな靴下を履いていくこと ・トイレを汚さない、汚れた場合はそのままにせず伝えること

さらに、何度も特定の自宅に遊びに行くことがあるのであれば、親同士の連絡・礼儀も忘れないようにしたいものです。ただ、家で遊ぶ際は特定の家に限定するのではなく、自宅へ招く、違う友達の家でも遊ぶなどして、ローテーションで遊び場所を変え、一つの家庭だけの負担になるのを避けることも大切です。

秋の過ごしやすい季節は、外で元気に遊ぶことが最も健康的だと思います。